

活動の注意点および活動事例紹介

～気づきから発見そして活用へ～
活動組織の活動事例より

令和5年度 農村まるごと保全地域研修会

©滋賀県世代をつなぐ農村まるごと推進協議会 事務局

本日お話しする内容

- 地区の概要
- 活動組織の構成
- 年間予算額
- 農地維持活動の取組み
- 資源向上(共同)活動の取組み
- 地域資源の発掘

地区の概要

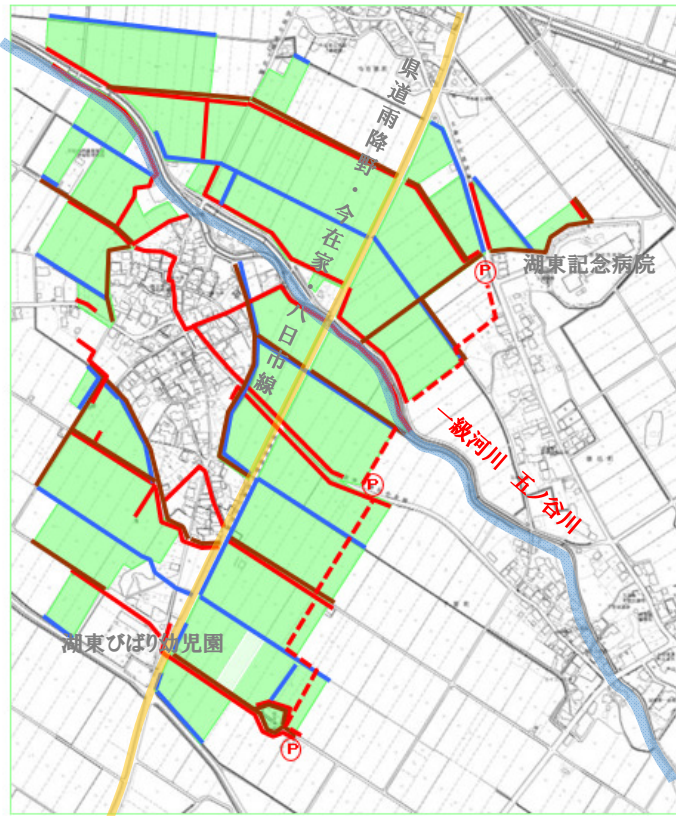
東近江市平松町

世帯数 108世帯
 人口 283人
 自治会員 71世帯
 農家数 24戸
 農事組合法人 1法人
 (令和元年時点データ)

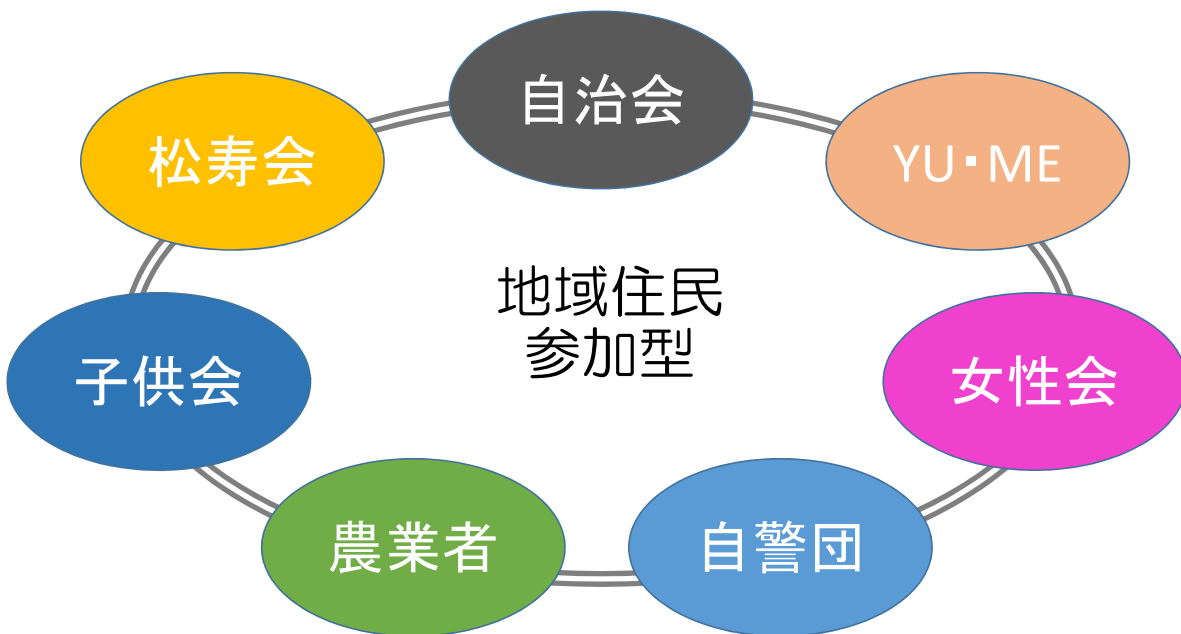
《農用地》
 対象農用地面積 約 3.3ha

《農業用施設》
 水路 開水路 約 7.7km
 パイプライン 約 0.6km

農道 約 4.0km



活動組織の構成



組織の役員

代表 1名
 副代表 2名
 書記 1名
 会計 1名
 役員 2名
 監査役 2名

年度	ふるさと平松を守る会 主な動き
平成19年度	「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」スタート (農地・水・環境保全向上対策)
平成20年度	一筆分水舁塩ビゲート設置(H19～H21)
平成21年度	環境こだわり取り組みが評価されその功績が市長より表彰される
平成22年度	専門家を迎え生き物観察会を実施
平成23年度	体制整備構想策定
平成24年度	「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」2期目スタート (農地・水保全管理支払交付金)東近江市と協定締結
平成25年度	11月27日自治会竣工式
平成26年度	新たな「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」スタート (多面的機能支払交付金)「多面法」により安定した制度
平成27年度	地域資源保全管理構想策定
平成28年度	東近江市農村まるごと保全広域協定参加決定
平成29年度	広域組織発足 広域組織主催 生き物観察会実施
平成30年度	広域組織主催 生き物観察会実施、台風21号被災、地域資源の発掘、視察の受け入れ等

議案第3号

東近江市農村まるごと保全広域協定に 参加することについて

東近江市農村まるごと保全広域協定に参加するため、別紙の参加同意書提出することについて議決を求める。

平成29年1月8日
ふるさと平松を守る会

★広域組織に参加するための書類

- 広域協定参加同意書
 - 以下の書類を一緒に添付
- ◇現在ある協定エリア図
- ◇対象農用地一覧表
- ◇現在ある参加同意書



交付金および日当単価について

令和4年度決算

【農地維持支払交付金】

対象面積×単価

3,346a×2,200円/10a= 736,120円

【資源向上支払交付金(共同)】

対象面積×単価

3,346a×1,300円/10a= 434,980円

計 1,171,100円 ----a

広域組織運営拠出金 46,844円 ----b

組織配分額(a-b) 1,124,256円 ≒ 1,124,000円

日当単価:900円/時間

年間予算額(令和4年度決算書より)

収入の部

	項目	決算額(円)	摘要
1	支援交付金	1,124,000	東近江市農村まるごと保全広域協定運営委員会より
2	預金利子	4	
	計	1,124,004	

支出の部

	項目	決算額(円)	摘要
1	日当	360,000	活動参加者に支払った日当
2	購入・リース費	80,899	資材の購入費、機械等の借上げ費、花苗代など
3	外注費	550,000	補修・更新等の工事等に係る建設業者等への外注費
4	その他支出	133,105	保険料、文具代、草刈機の燃料代、お茶代など
5	返還	0	返還金
6	次年度への持越(残高)	0	
	計	1,124,004	

農地維持活動の取組み

※番号等は国が定める活動指針及び活動要件による。

【農地維持活動】 地域資源の基礎的な保全活動
点検・計画策定（点検）
1 点検

【必須】



【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動
点検・計画策定（計画策定）
2 年度活動計画の策定

【必須】



【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動
研修
3 事務組織運営に関する研修、**機械の安全使用**
に関する研修

【必須】



※機械の安全使用に関する研修(R2から必須)

【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動

【必須】

実践活動（農用地）

4 遊休農地発生防止のための保全管理



計画	実施	備考
○	×	遊休農地はなかった。

【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動

【必須】

実践活動（農用地）

5 畦畔・法面・防風林の草刈り



【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動

【必須】

実践活動(水路)

7 水路の草刈り



※一級河川(河川愛護)は交付金対象外

【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動

【必須】

実践活動(水路)

8 水路の泥上げ



【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動
実践活動(水路)

【点検結果に基づいて
実施の必要性を判断
する取り組み】

9 水路付帯施設の保守管理



【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動
実践活動(農道)

【必須】

10 農道の草刈り



【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動
実践活動(農道)

【点検結果に基づいて
実施の必要性を判断
する取り組み】

12 路面の維持



【農地維持活動】 地域資源の基礎的な保全活動
共通
16 異常気象時の対応

【必須】



【必須】

【農地維持活動】地域資源の基礎的な保全活動

共通

16 異常気象時の対応

計画	実施	備考	計画	実施	備考
○	○	(例)台風・大雨後に点検した結果、異常はなかった。(○月○日点検実施)	○	×	(例)異常気象の発生はなかった。

【農地維持活動】地域資源の適切な保全管理のための推進活動

【選択】

1つ以上実施

20 地域住民との意見交換・ワークショップ・交流会の開催



【選択】
1つ以上実施

【農地維持活動】地域資源の適切な保全管理のための推進活動

17 農業者による検討会の開催



資源向上(共同)活動の取組み

【資源向上活動(共同)】施設の軽微な補修
機能診断・計画策定 (機能診断)
24 農用地の機能診断

【必須】

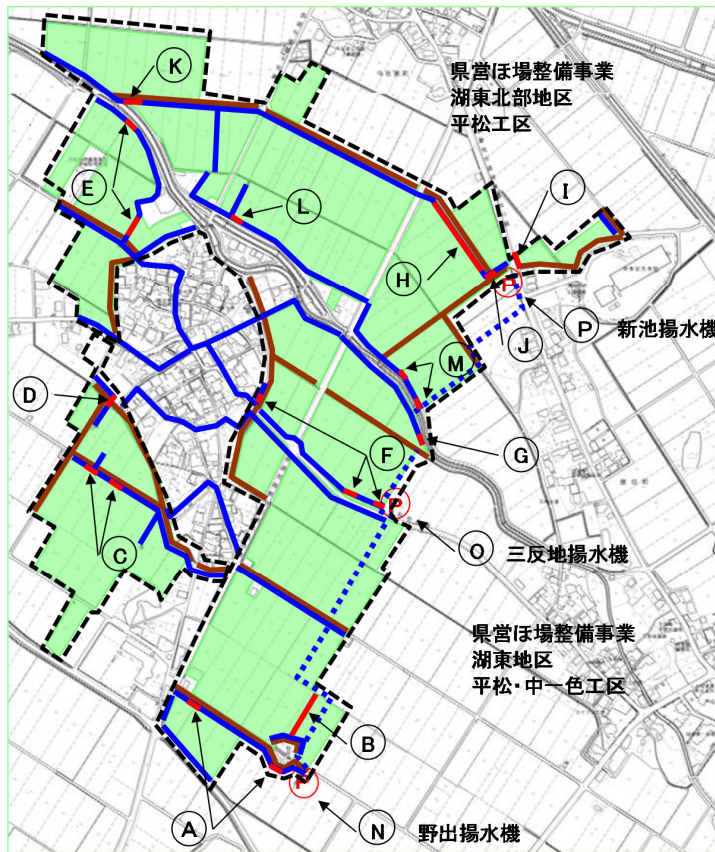


【資源向上活動(共同)】施設の軽微な補修
機能診断・計画策定 (機能診断)
25 水路の機能診断

【必須】



【必須】



協定の対象となる資源	
	農用地
	開水路
	パイプライン
	農道
	ため池
	遊休農地
	農村環境向上活動

(参考様式2)

用水路(開水路)の機能診断結果表

記入年月日	平成29年4月16日
活動組織名	ふるさと平松を守る会
記入代表者氏名	馬野正義

【必須】

番号	路線名(地元で水路名称があればその名称を記入。無ければ任意名を記入)	C判定区間名	UFかBFか現場打ちを○で囲む			断面サイズ(cm):内寸法	C判定区分(C判定に該当するなら○)				これまで実施した「施設を長持ちさせる取組」を記入		
			UF	BF	現場打ち		水路の破損	水路の摩耗	沈下や傾斜	目地の漏水	C判定区間延長(m)	実施年度	実施内容
①	僧坊支線後地6①	A	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm	○		○		24	H	
②	同上流末	B	UF	BF	現場打ち	UT300B				○	84	H	
③	直接蛇穴3	C	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm			○		30	H	
④	直接門川3	D	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm			○		8	H	
⑤	愛知川支線平松2①	E	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm			○		80	H	
⑥	僧坊支線中里9-1	F	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm			○	○	60	H	
⑦	僧坊支線中里10	G	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm					4	H	
⑧	平柳支線竹の尻1 2	H	UF	BF	現場打ち	高:32cm 幅:36cm				○	150	H	
⑨	平柳支線竹の尻1 2-1	I	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm			○		8	H	
⑩	平柳支線竹の尻1 2	J	UF	BF	現場打ち	HP350				○	5	H	24 漏水暗渠管更新(改良区事業)
⑪	平柳支線竹の尻1 4	K	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm			○		48	H	
⑫	僧坊支線中里13	L	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm			○		16	H	
⑬	僧坊支線中里12②	M	UF	BF	現場打ち	高:28cm 幅:31cm			○		12	H	
⑭	野出揚水機	N	UF	BF	現場打ち	水中モータポン プφ75mm					1基	H	26 耕作条件改善事業で更新
⑮	三反地揚水機	O	UF	BF	現場打ち	水中モータポン プφ75mm					1基	H	
⑯	新池揚水機	P	UF	BF	現場打ち	水中モータポン プφ75mm					1基	H	

【必須】

【資源向上活動(共同)】施設の軽微な補修

機能診断・計画策定 (機能診断)

26 農道の機能診断



【必須】

【資源向上活動(共同)】施設の軽微な補修

研修

29 機能診断・補修技術等に関する研修



**【資源向上活動(共同)】施設の軽微な補修
実践活動(農用地)**

30 農用地の軽微な補修等

【機能診断結果に基づいて実施の必要性を判断する取り組み】



**【資源向上活動(共同)】施設の軽微な補修
実践活動(水路)**

31 水路の軽微な補修等

【機能診断結果に基づいて実施の必要性を判断する取り組み】



購入品

【機能診断結果に基づいて実施の必要性を判断する取り組み】



• 資材を購入し構成員が施工します。

【資源向上活動(共同)】施設の軽微な補修
実践活動(農道)
32農道の軽微な補修等

【機能診断結果に基づいて実施の必要性を判断する取り組み】



【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

計画策定

テーマ:生態系保全

水質保全

景観形成・生活環境保全

【選択した取り組みについて、基本方針、保全方法、活動内容など示した計画を毎年度策定する。】

34 生物多様性保全計画の策定

35 水質保全計画、農地保全計画の策定

36 景観形成計画、生活環境保全計画の策定

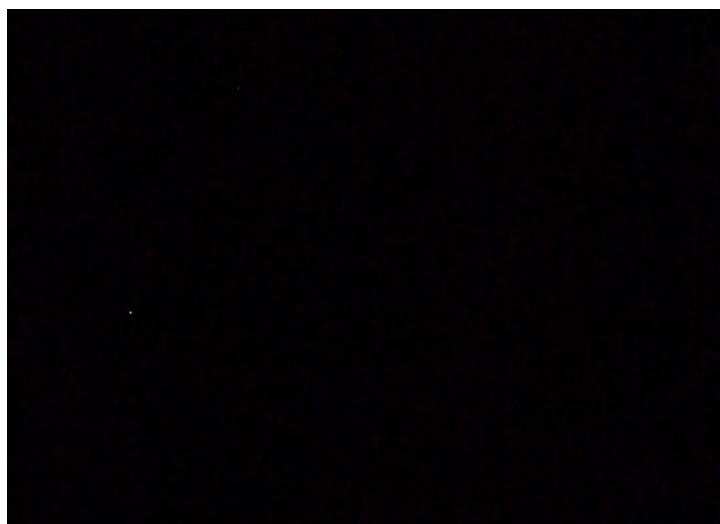
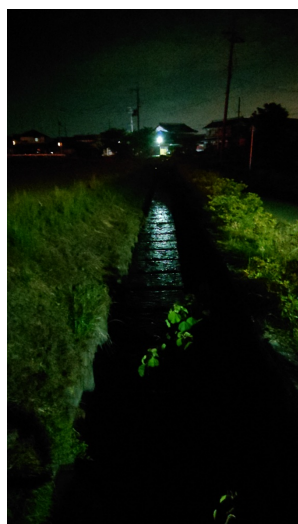
【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

テーマ:生態系保全

39 生物の生息状況の把握

【選択】

1つ以上実施



【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

テーマ:生態系保全

39 生物の生息状況の把握

【選択】

1つ以上実施



【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

テーマ:生態系保全

39 生物の生息状況の把握(広域組織)

【選択】

1つ以上実施



【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

テーマ:生態系保全

39 生物の生息状況の把握(広域組織)

【選択】

1つ以上実施

調査時期 名称	画集「時空の旅」 p50記載 1994秋	生き物観察会 2010年 7月4日	生き物観察会(広域) 2017年 7月27日	生き物観察会(広域) 2018年 8月21日	備考
アユ	○				
フナ	○	○			カンゾ(ふなの子)
ドジョウ	○	○	○	○	
ヨシノボリ(ドチンマ)	○				
ゴリ(ドチンマ)	○				ゴリは大豆と一緒に煮る。
タモロコ(モロコ)	○				
うなぎ	○				
カワムツ(アカムツ、ムツ)	○	○	○	○	
ドンコ	○	○	○	○	
アブラボテ			○	○	
オイカワ					過去に生息していた魚
タナゴ(ボテジャコ)					//
コイ					//

()に記載は地元の呼び名



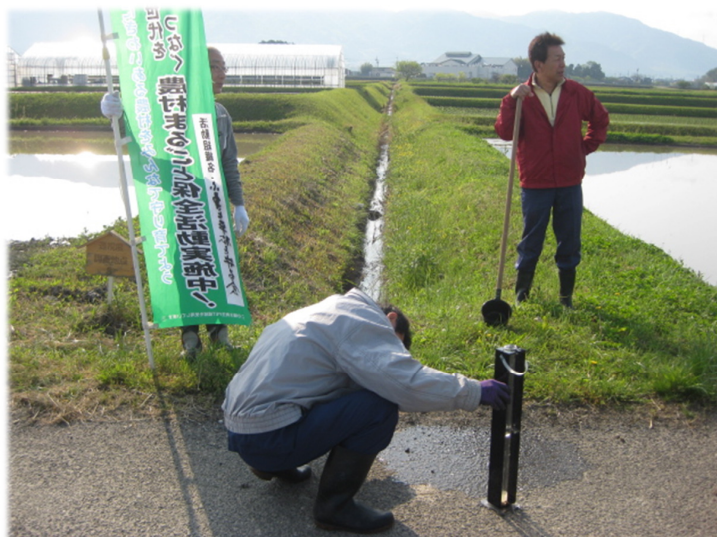
【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

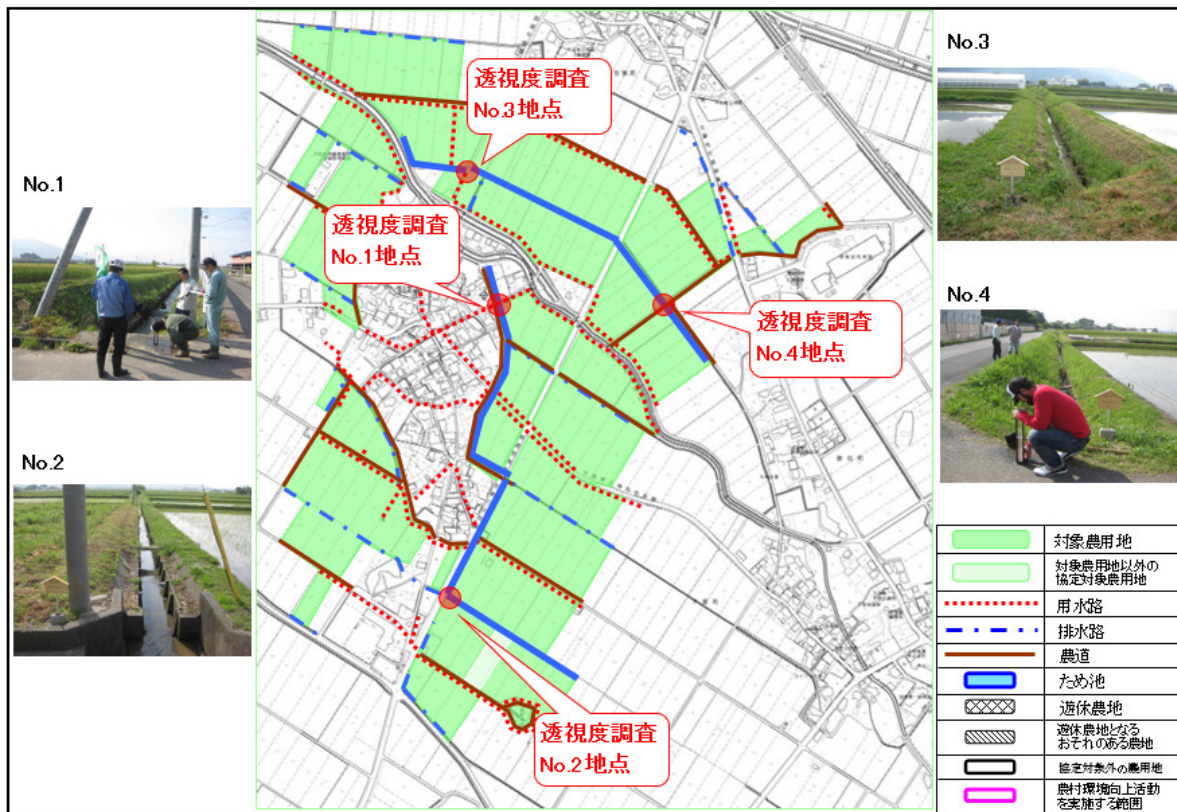
テーマ:水質保全

42 水質モニタリングの実施・記録管理

【必須】

県基本方針





【必須】
県基本方針

【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

【必須】
県基本方針

テーマ:水質保全

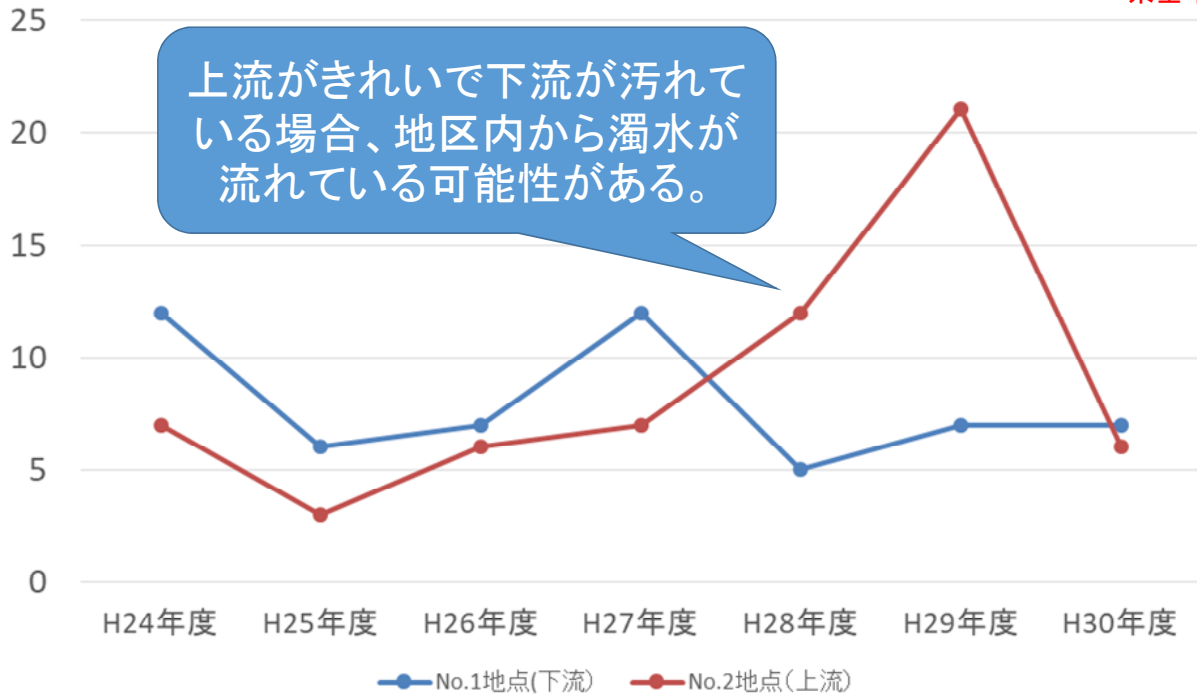
42 水質モニタリングの実施・記録管理



No.1地点(下流)とNo.2地点(上流)の透視度比較
【しろかき中】

【必須】
県基本方針

単位:cm



上流がきれいで下流が汚れている場合、地区内から濁水が流れている可能性がある。

【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動
テーマ: 景観形成・生活環境保全
45 植栽等の景観形成活動

【自由選択】
地域の意向により



【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

テーマ: 景観形成・生活環境保全

45 植栽等の景観形成活動

【自由選択】

地域の意向により



【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

テーマ: 景観形成・生活環境保全

46 施設の定期的な巡回点検・清掃

【自由選択】

地域の意向により



【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

テーマ: 景観形成・生活環境保全

47 その他(景観形成・生活環境保全)

□農業用水の地域用水としての利用管理

【自由選択】

地域の意向により



【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

啓発・普及

51 啓発・普及活動(広報活動)

【選択】

1つ以上実施



※農村環境保全活動に対する地域住民等の理解を深めるために、……

【資源向上活動(共同)】農村環境保全活動

【選択】

啓発・普及

1つ以上実施

51 啓発・普及活動(地域住民等との交流活動)



※農村環境保全活動に対する地域住民等の理解を深めるために、……

【資源向上活動(共同)】多面村的機能の増進を図る活動

【選択】

60 広報活動・農的関係人口の拡大

1つ以上実施

■1. 活動組織の活動紹介(1)～ふるさと平松を守る会(滋賀県東近江市)～

～地区概要～
 当地区は琵琶湖の東、湖東平野に広がる田園地帯。活動範囲は田34ha(全て水田)、総水路7.7km、パイプライン0.6km、農道4.0km。湖東平野にて世代をつなぐ農村あること(保食向上対策)がスタートし平成19年度に組織設立。平成29年度から東近江市に設立された広域組織に協定参加。

～主要取組～
 ◎4月、5月の代掻き期、田植え期・後期には田んぼから水を流さない取り組みとして、広報活動や通達書調査を行っています。
 ◎農地等を活用した農耕形成、生態系保全活動として水田でのホタルの観察会を行っています。自治会主催の夏祭りに参加して、活動紹介、生き物観察など地域住民との交流・活動にも取り組んでいます。また、広域組織が設立された平成29年度からは当地区で広域組織主催の生き物観察会が行われ、若くは幼少の層にも参加しています。
 ◎稲作中、当地区に学習集団が訪れた方から77歳の農村生活をテーマにしたイラストを提供いただきました。地域の「歴史」や「農村文化の伝承」も地域資源であり、宝である新たな気づきがありました。地域行事においてイラストを展示し、ご年配の方のイラストを拝見しておかすにしたり子どもたちは興味津々の様子でした。これからは地域資源を発見し活かせる活動にしていきたいと考えています。

【ふるさと平松を守る会 中田久美】



農林水産省

多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」

「農村ふるさと保全通信」は、活動組織のネットワーク形成や、国民の皆さんへの理解醸成を促進することを目的としたメールマガジンです。多面的機能支払の活動組織の紹介や、地域資源保全の新技術などの情報を、月1～2回程度配信しています。(現在：第115号)

- ▶ 第112号(6月1日発行)(PDF:1.693KB)
- ▶ 1. 活動組織の紹介
 - ☆ふるさと平松(ひらまつ)を守る会(滋賀県東近江(ひがしおうみ)市) ☆
 - ☆綾部西(あやべにし)エコネット(岡山県津山(つやま)市) ☆
 - ☆東八田(ひがしはった)農地・水保全活動組織(福岡県築上町(ちくじょうまち)) ☆
- ▶ 2. 女性役員へのインタビュー
 - ☆美しい新庄を育てる会(岡山県備前(びぜん)市) ☆
- ▶ 3. 令和4年度 制度の一部を見直ししました(1)
- ▶ (編集後記)

SDGs(持続可能な開発目標)×多面的機能支払交付金

図：SDGsと本交付金の活動目標の関連性(イメージ)

多面的機能支払交付金の活動目標は、SDGsの目標達成に貢献しているか一緒に考えていきましょう！

持続可能な社会づくりを目指しています。

※多面的機能支払交付金の活動に対する多様な主体の参画の促進や地域外からの呼び込みによる農的関係人口の拡大のために、……

地域資源の発掘

地域資源

農業生産物

風景

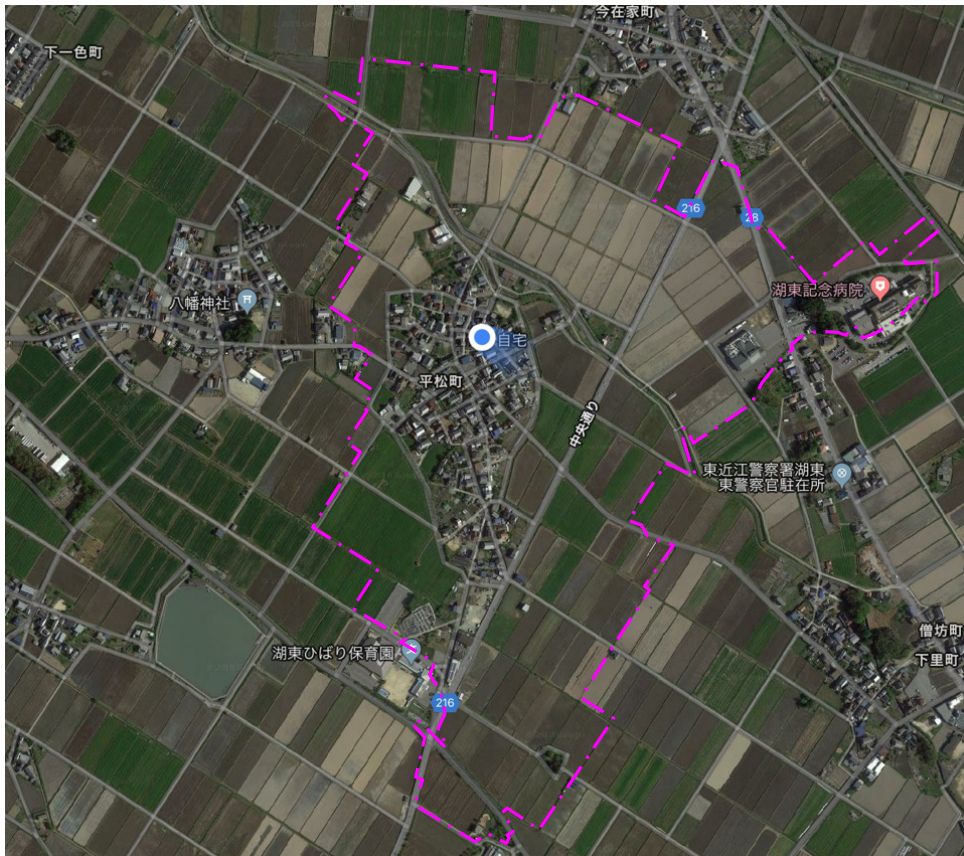
歴史

文化

人

もの

(今は使われなくなったものを
含む)



何もない



気づき



お宝発見



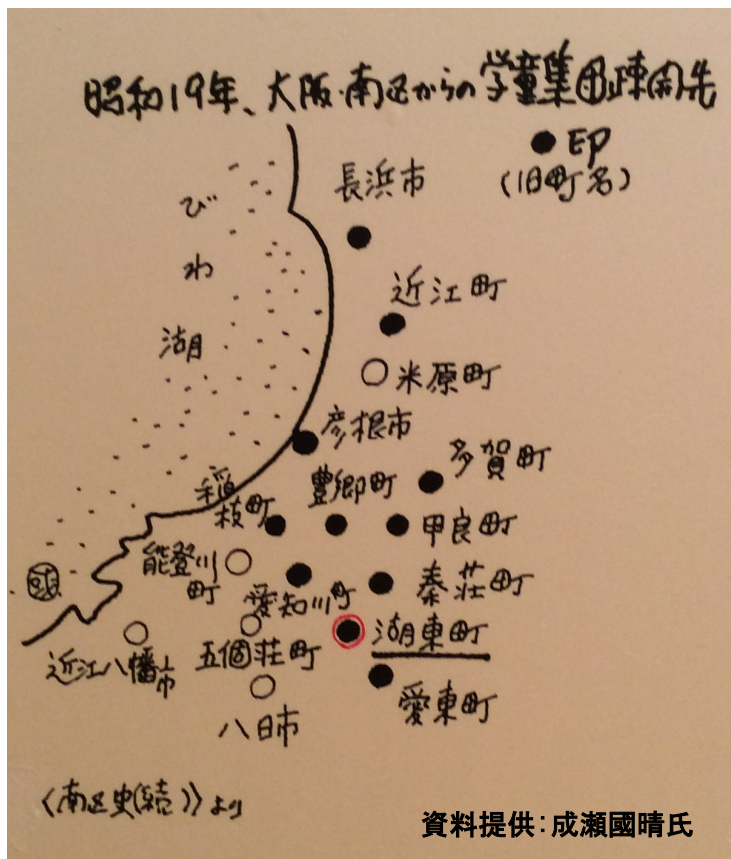
活用へ

例：伝統食

【農村環境保全活動】 啓発・普及 地域住民等との交流活動

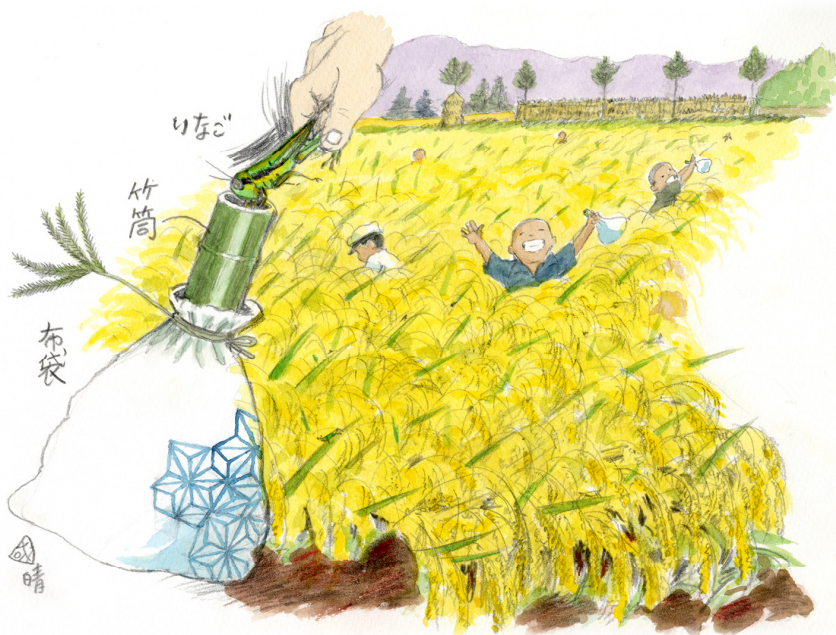


写真提供：
愛荘町立愛知川
びんてまり館
・愛知川図書館





資料提供:成瀬國晴氏



資料提供:成瀬國晴氏



地域資源の発掘（何もない？）

- 誇れる資源は何もないと思っていた。

成瀬國晴氏のイラスト画「時空の旅」をみて

（昭和19年から終戦までの約1年間平松町東方寺に集団疎開され、体験された農村生活を偲びイラスト画にされたもの）

- 新たな気づき

イラスト画「時空の旅」は平松町の宝であり、後世に伝えていくべきものである。

自然・歴史・文化・風土・人も「地域の宝」であり地域資源である。

農家の蔵





ご清聴ありがとうございました。

